

もっと、知りたい。TOKIWAのコト。

TOPOS

学校法人常磐大学 広報誌
TOKIWA POST [トポス]

vol.
94
September
2022



常磐大学高等学校
創立100周年の
記念式典を開催！

■ News & Topics ■ Eye on Clubs ■ 新園長就任紹介





常磐大学高等学校 創立100周年記念式典

2022年6月18日。

1700人の参加者の熱い拍手の中、
常磐大学高等学校創立100周年の記念式典・
記念イベント・生徒パフォーマンスが実施されました。

常磐大学高等学校は、1909年に
諸澤みよが開設した裁縫教授所に
始まり、1922年に水戸常磐女学校
となって今年で創立100周年を迎え
ました。

学校法人常磐大学は、1900年代
後半に短期大学、幼稚園、大学、大学院
さらに2008年には中等教育学校を
開設して今日を迎えました。水戸常磐
女学校の初めての入学式が挙行された
1922年4月の教職員は4人、入学
生は38人でした。それから100年の
時がたち、2022年4月に、教職員約
600人、在校生は5000人を超え
る教育機関へと成長しています。

記念式典当日の6月18日、会場と
なったアダストリアみとアリーナには
約1700人の参加者が集い、生徒
代表による100年の歩みを振り返る

プレゼンター
シヨンから
式典が開幕。
さらに理事
長と校長の
挨拶、ご来賓
の祝辞、生徒
代表の挨拶、
100周年
記念ロゴ制
作者の表彰に続き、ソプラノ歌手 庄司
奈穂子さんが校歌を独唱、余韻を響かせ
ながら式典は幕を閉じました。



生徒代表挨拶 生徒会長 菊池奏良(3年)

本校100年の歴史を振り返り、「常
磐大学高等学校創立100周年記念
誌」を制作し、この日参加の方々に配付
しました。常磐大学高等学校の歴史に
刻まれる100年目の足跡は、皆さん
の心にも深く残っていくでしょう。

来賓祝辞 同窓会会長 住谷里子さん



進行を務めた元テレビ朝日
アナウンサーの大木優紀さん

オペラ歌手庄司奈穂子さん
による校歌の独唱

100周年記念ロゴ
制作者として、
大山莉奈さんが
表彰されました。



100周年の記念事業の一つとして、常磐大学高等学校創立100周年記念ロゴを制作しました。生徒から募集した総数218点の作品の中から、大山莉奈さん(3年)の作品が選ばれ、表彰されました。制作には、本校卒業生で、現在グラフィックデザイナーとして活躍している石井一十三さんにご協力いただきました。このロゴには、これまでの100年、これからの100年、過去・現在・未来を「つなぐ」。そんな意味が込められています。

ウェルカムイベント 生徒プレゼンテーション



創立100周年記念式典の開幕を飾ったのは、生徒代表による常磐大学高等学校の歩みを振り返ったプレゼンテーションです。長嶋大吾さん(2年)、辻井栞さん(2年)、羽石陸来さん(2年)、石塚よつ葉さん(2年)の4人が100年の歴史を語りました。

創立者である諸澤みよの想いを受け継ぎ、戦争や大震災など激動の時代の中で、「人を育てること」に重点を置き、次世代を担う幅広い分野の人材を輩出してきた本校。その大きな節目となるこの日、100年の道のりを熱く語る生徒たちに、会場は大きな拍手で応えました。

理事長挨拶

目標を持って挑戦する人たちが
本校は応援し続けます。

学校法人常磐大学 理事長
小櫃重秀



常磐大学高等学校は、女性を受け入れる教育機関が乏しかった時代に、諸澤みよ先生により女性の自立を支える学校として創立されました。それから100年、熱意と情熱を持った先生方のご尽力と、生徒たちの努力により、3万8630人も卒業生を社会に送り出しています。

本校は、「実学を重んじ真摯な態度を身につけた人間を育てる」を建学の精神としています。「実学」とは、社会生活に実際に役立つ学びです。みずみずしい高校時代、授業や課題活動などに打ち込み、目標を持って挑戦する。その積み重ねによって「実学」を身につける。そんな若者たちを応援したいと思います。卒業生、在校生、そしてこれから先、常磐大学高等学校で学ぶことになる皆さんに、豊かな未来が続くことを願っております。

校長挨拶

次の100年を
切り開くために。

常磐大学高等学校 校長
柏正則



2022年、本校は学校創立100周年を迎えました。記念すべき節目に立ち会わせていただき、現役の教職員として、これまで本校を支えてこられた皆様に心から感謝申し上げます。

今、生徒の皆さんは、どんな思いでいるのでしょうか。私は、次の100年を切り開くのは君たちであり、挑戦する心と主体性を持ってこれからの時代を歩んでほしいと思います。志を持って豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となる、新たな価値を生み出す人材になってください。その資質・能力を育成することが、今の教育に求められています。100年間、脈々と受け継がれてきた本校の歴史をさらに飛躍させ後世に引き継ぐことこそが、現役の教職員・生徒に与えられた使命であると考えています。

記念イベント

元アイドルやプロ野球の球団代表、シンガーソングライターが生出演。創立100周年を彩る、華やかなイベントとなりました。

創立100周年記念式典の後は、ゲストを招いての記念イベントが開催されました。

まず常磐大学高等学校出身の二人の先輩のトークライブ。アイドルグループ櫻坂46の元メンバーで現在はファッションモデルの渡辺梨加さん、そして地元のプロ野球団茨城アストロプラネッツ代表の山根将大さんの登壇に、会場は盛り上がりました。

そして、シンガーソングライター erica さんのライブステージ。会場の皆様も一体となったイベントとなりました。



トークライブ

夢に向かってあきらめずにチャレンジした二人常磐大学高等学校出身の先輩たちのトークライブ。

社会で活躍している卒業生のお二人をお招きし、二人を知る小櫃理事長も加わったトークライブ。

茨城アストロプラネッツの山根さんは、大学卒業後、就職した会社を6年で退職してプロ野球の世界へ。東日本大震災をきっかけに、地域への貢献を目的として地元のプロ野球チームをつくりました。常磐

大学高等学校の野球部の試合は毎年チェックしていて、「うちの球団に入ってくれる選手が育つのを待っている」とのこと。

櫻坂46の元メンバー・渡辺さんは、高校卒業後、やりたいことが見つからず、「何のために生きているんだろう」と考え



ながら毎日を過ごしています。そんな時、櫻坂46のオーディションがあることを知り、「一つのことには全力を出し切れれば人生変わる」と思って挑戦し、見事合格今はモデルとして活躍しており、「新しいこと、やりたいことにチャレンジしたい」という心を持ち続けています。

小櫃理事長は、二人の高校時代の様子に触れ、成長した姿に、何度もうなずいていました。

卒業後、夢を叶えた二人の話は、会場にいた本校生徒たちにも目指す道を考える良い機会となりました。



音楽ライブ

地元スポーツ施設の体育館がコンサート会場に。

シンガーソングライター

ericaさんのライブステージ。

代表曲「あなたへ贈る歌」がYouTube再生回数3900万回超え。大きな支持を集めるアーティストが、素敵な歌の世界を魅せてくれました。会場は、まさにコンサート会場に早替わり。大きな歓声に包まれました。



スマホをペンライト代わりにして、会場を盛り上げる生徒たち。

生徒パフォーマンス

書道で、チアで、吹奏楽で100周年を祝う。生徒がづくり、演じた熱いパフォーマンス。

音楽ライブの後は、生徒たちによるパフォーマンス。書道部、ダンス部、応援団、チアリーダー、吹奏楽部による多くの生徒たちが思い思いの演技で100周年を祝いました。当日のパフォーマンスから、ほんの一部をご紹介します。



オープニングは、書道部によるパフォーマンス。応援団、チアリーダー、ダンス部、吹奏楽部のエールの中、書道の腕ふるいました。常磐大学高等学校の校歌を、100周年への思いを込めて書きました。

吹奏楽部によるマーチング。「パイレーツ・オブ・カリビアン」のテーマのほか2曲を演奏。最後は、学生時代に吹奏楽部だった柏校長がタクトを振り、ダンス部、応援団や生徒たちが加わった「YOUNG MAN」。会場が一つになって、Y・M・C・Aの掛け声が響きました。



応援団と吹奏楽部によるパフォーマンス。野球部への応援のための演舞です。「ゆけゆけ、ときわ!」



パフォーマンスの最後は、ダンス部とチアリーダー合同のダンス。振り付けはOGが担当し、締めくくりにふさわしいパフォーマンスとなりました。



100周年
の記念すべき
日に、懐かし
い笑顔に出会
い、高校時代
に帰る。参加
した皆さんに
とって、母校
への思いを深
める、忘れら
れない一日と
なりました。



ホームカミングデーは、卒業生が旧友
や懐かしい恩師と再会し、皆さんと親
睦、交流を深めていただくため、そして
何より「母校に帰ってきていただきたい
い」という思いを込めた企画です。
記念式典の会場からホテル・ザ・ウエス
トヒルズ・水戸に会場を移して開催され、
ご挨拶・懇親会と共にソプラノ歌手 椎名
知子さんとピアニスト 鈴木理恵さん、吹
奏楽部OGによるアンサンブルが会場を
盛り上げ、近況報告なども行われました。

卒業生の皆さん「お帰りなさい」
約300人の卒業生が交流を深めました。

ホームカミングデー

Homecoming Day



学び、体験し、日々成長している学生・生徒・園児たち。
そんな彼らの活躍の場は、校内にとどまらずさらなる広がりを見せています。
ここでは各学校の主な活動や取り組み、実績などをご紹介します。

大短 第5回常磐大学社会安全政策研究所主催 公開シンポジウムを開催しました

5月31日、第5回常磐大学社会安全政策研究所主催の公開シンポジウムが、常磐大学センターホールで、今、ウクライナの危機を考える」をテーマに開かれました。会場には学生、教職員約40人、併せてオンライン配信には128人が参加しました。このシンポジウムでは、地政学的文脈に沿って、この戦争がなぜ起こったのかを理解し、紛争の行く末を議論、国際社会として、そして日本として何ができるのか、その限界も含めて話し合いました。登壇者は3人でポーランド近現代史専門の常磐短期大学安井浩浩教授、国際組織法・国際機構法専門の尾崎久仁子特任教授、元国際人権法・国際刑事法専門の渡部茂己常任理事、元国連職員の富田敬子学長がモデレータを務めました。安井教授は、長く複雑に絡み合ったその歴史を振り返ることに、今日の対立の背景を説明しました。渡部常任理事は、集団安全保障のメカニズムについて触れた上で、ロシアのウクライナ侵攻の引き金となったNATOの東方拡大について解説。また、国連安全保障理事会を含む、国際機構の抑止力の限界に触れました。尾崎特任教授は、ロシアによるウクライナ侵攻・大量虐殺を戦争犯罪の視点から語り、「ICCを離脱しているロシアの大統領を誰が、どう裁けるのか?」を説明しました。会場の学生からも「戦争は止めることはできないのか」「在日ロシア人に差別するのはおかしい」などの質問がありました。



大短 常磐大学・常磐短期大学の 2022年度保護者会を開催しました

6月25日、常磐大学・常磐短期大学の保護者会を開催しました。富田敬子学長の挨拶をはじめ、常磐大学後援会総会・常磐短期大学父母の会総会、学科別懇談会、個別懇談、支援センター見学が順次行われ、日頃、学生が学んでいる環境や、大学、短期大学における取り組みなどについて、学校側と保護者の方々の



が情報共有を図る機会となりました。気温が36度を超える猛暑日となりましたが、多くの保護者の方々に「来学いただき、ありがとうございました」。

高校 未来のイノベーター育成を目指す 2学年対象キャリアガイダンス開催

6月22日、5:6時限を使って2学年対象キャリアガイダンスを実施しました。未来のイノベーターを育成することを目標に活動されている「MAKER'S UNIVERSITY」の「高校への出張授業プロジェクト」に参加し、5人の方々からのお話と対話のセッションを行いました。今回は対面とオンラインの二つの方式で実施しました。それぞれ「自分で新しい仕事を始めよう」とした経緯やこれまでの歩みなどから、なぜ新しい仕事を創造しようとしたのかを熱く語っていただいた後、生徒からの質問にお答えいただきました。これまでになかった仕事を新たにつくり上げていこうとする生き方に、生徒たちは刺激を受けたようでした。



〈講師として登壇していただいた方々〉
新莊直明さん(小布施町SDGs観光コーディネーター)
渡辺洋平さん(ディアペリー株式会社代表取締役、レザー製品開発事業)
岡庭晴さん(株式会社Chloni CEO: サプリ事業運営)
滝本力斗さん(発明家)
野村奈々子さん(岐阜大学医学部看護学科4年/未来を切り拓くWEBメディア「見たまノート」代表)

高校 恒例の行事 ときわ祭

6月3日、4日、「ときわ祭」を開催しました。コロナ禍の影響下、一時は開催が危ぶまれましたが、ときわ祭実行委員会の生徒を中心にクラス毎にコロナ禍でも可能な開催方式について話し合い、開催することができました。学校全体を時間毎に、「出し物」「校内見学」「体育館パフォーマンス見学の3つのグループに分けること」によって、開催期間中の校内には、生徒で混み合ったり



する様子は全く見られませんでした。

コロナ禍にあってもときわ祭を開催したいという強い思いの実現のために、生徒自らが様々な課題を克服し、実にスマートな形で開催となりました。開催期間中の思い出だけでなく、開催に至るまでに乗り越えた険しい道のりは、生徒の今後にも十分生かされることでしょう。

智学館 国内研修旅行

3月17日、19日、3年次生から5年次生(現4年次)から6年次が3年ぶりの国内研修で福島、栃木を訪れました。特に4月から受験生となる5年次生にとって、海外研修旅行代替のこの研修は最後の宿泊行事となります。一日目はアクアマリンふくしまや鶴ヶ城訪問のち、会津武家屋敷で赤へこの給付け体験、二日目午前はスノーシューで雪の降り積もった森の中を歩きながら磐梯山の雄大な風景を目の当たりにし、午後は無邪気に雪遊び。最終日は那須ハイランドパークで最後の思い出づくり、無事に全行程を終えました。

また、4月20、21日の1泊2日で、1年次生が「水戸市少年自然の家」で新入生合宿を行いました。コロナ禍の影響で、3年ぶりとなった新入生合宿は、佐白山ハイキング、笠間焼陶芸体験、「城里ふれあいの里」でのハーベキューなど盛りだくさんの内容でした。最初は緊張をしていた生徒たちの親睦も深まり、智学館生活の良きスタートとなりました。



智学館 本物のミュージカルに大感動! 芸術鑑賞会

7月7日、東京の四季劇場「秋」でミュージカル「バケモノの子」を鑑賞しました。鑑賞前には緑豊かな「浜離宮恩賜庭園」を訪れバス移動の疲れを癒やし、期待を膨らませました。ミュージカルは、プロジェクトメンバーを駆使



した演出により、音楽のみならず視覚的にも一流のエンターテインメントに仕上がっていて、生徒たちの心を大きく揺さぶりました。また、帰りのバスに乗り込む際、誘導担当の方から、「皆さんとてもマナーが良く、礼儀正しくて感動しました」とお褒めの言葉をいただきました。生徒たちを誇らしく思う一日となりました。

幼稚園 お楽しみ保育

6月10日夕方から、みんな期待に胸をふくらませた表情での登園。はじめの会の後はレクリエーション。中でもデカパンリレーは、クラスの団結が図られた競技でした。美味しいカレーの夕食も済み、いよいよキャンパファイヤーです。燃え上がる火を見つめ、気持ちや和らぎます。その後、保護者の方々が参加しての花火大会。打ち上げ花火に歓声があがりました。最後のメインイベントは「ホタル観賞」です。水生植物園のゲンジボタルの灯りはとても幻想的で、感動的でした。一人ひとりの心にしっかりと思い出として刻まれた一日となりました。



幼稚園 バスケットボールで遊ぼう (茨城ロボッツ)

6月14日、茨城ロボッツの指導員の方を迎えて行われたバスケットボールで遊ぼう。準備体操をしっかりとした後、少しずつバスケットボールに触れるためのプログラムがスタートしました。手で転がし、戻って次のお友達と交代。次は片手がカニのポーズで、横向きでのボール転がし。2手のひらを丸くしてドリブルしてみよう」と指導員の方の力強いドリブルを見て、がぜんやる気がアップしました。「楽しい!」と、ポンポンとはちきれほどの笑顔で、ボールに触れることができました。



常磐大学

「硬式野球部」

二人のキーマンが語る、
「一球集中」!

常磐大学の硬式野球部は、1985年に創部。1993年から関甲新学生野球連盟に加盟し、初年度より1部リーグで活躍する名門です。多くのプロ野球選手も輩出している硬式野球部の活動を、主将と監督、二人のキーマンが紹介します。



常磐大学硬式野球部

DATA

部員数: 70人
2021年度 関甲新学生野球連盟春季2部リーグ総合優勝
2022年度 関甲新学生野球連盟春季リーグ戦1部リーグ6位

「一球集中」は続きます。

硬式野球部のキャッチフレーズは、「一球集中」です。この言葉通り、練習では一球の重みを感じながら、ひたむきにボールを追っています。70人の部員に常に声をかけ、全員でやっけていく野球が、常磐大学硬式野球部です。

部の強みであるバッティングを鍛え、来季の目標は3位以内、さらにはリーグ優勝を狙います。「チームワークを磨きあげることで、今季よりも上を目指します。私個人としては、キャプテンとして2シーズン目なので、主将力を上げていきたいです」。大学卒業後は社会人野球をやりたいという木村さん。社会に出てから

部員70人の大所帯を束ねる、主将力が輝く。



主将
木村 俊輔
人間科学部現代社会学科 (4年)

硬式野球部は、令和4年度関甲新学生野球連盟春季リーグ戦1部リーグで6位という結果でした。「自分たちは3位以内を目指していたので、6位という結果は悔しいです」。そう語るの硬式野球部主将の木村俊輔さん。3年生で主将に就任し、2年目の今、70人の部員を束ねています。

「硬式野球部のキャッチフレーズは、「一球集中」です。この言葉通り、練習では一球の重みを感じながら、ひたむきにボールを追っています。70人の部員に常に声をかけ、全員でやっけていく野球が、常磐大学硬式野球部です。」

部の強みであるバッティングを鍛え、来季の目標は3位以内、さらにはリーグ優勝を狙います。「チームワークを磨きあげることで、今季よりも上を目指します。私個人としては、キャプテンとして2シーズン目なので、主将力を上げていきたいです」。大学卒業後は社会人野球をやりたいという木村さん。社会に出てから

「今年の目標は、まずリーグ優勝。そのためには一軍の選手を含め、競争で自分のポジションを獲得してほしい」。小松崎監督は、チームのテーマとして、一人ひとりが目標に向かって努力を惜しまずに取り組むことを掲げます。「硬式野球部のモットーは、積極的に攻めること。部のキャッチフレーズである「一球集中」も、日々の練習から常に一球に集中し、一発で仕留めるための言葉なんです」。

コロナ禍で練習が制限される中、小松崎監督は限られた環境で一人ひとりが考え行動する練習を行ってきました。「個々の能力を最大限に引き伸ばすことが監督の仕事です。野球だけじゃなく、部活を通じて挨拶や礼儀といった作法を身につけ、社会に出て活躍できる人間に成長してほしいです」。積極的に攻める姿勢で、社会でもレギュラーを目指すのが、小松崎流でした。

野球も人生も積極的に攻める。



監督
小松崎 元樹

注目の部活動にフォーカス!

高等学校

「陸上部」 自ら考え挑戦する 陸上部。

「自ら考え挑戦する姿勢を養う」をテーマに、週3回の全体練習やMT(マイタイム)の導入など、ユニークな指導・練習を実践する常磐大学高等学校陸上部。その成果は、県大会や関東総体での好成績につながっています。陸上部の活動について、陸上部の顧問と副キャプテンが語ってくれました。

関東出場選手の主な実績

キャプテン **ギラニ 世良** (3年)

2021年度 県高校総体 男子八種競技 第3位 関東総体出場
2022年度 県高校総体 第7位

野澤 大輝 (3年)

2022年度 県高校総体 男子八種競技 第3位 関東総体出場

黒澤 結月 (3年)

2021年度 県高校総体 女子棒高跳 第2位 関東総体出場
県選手権 第5位 関東選手権出場
2022年度 県選手権 第5位 関東選手権出場権獲得

左:ギラニ 世良、中央:黒澤 結月、右:野澤 大輝



DATA

常磐大学高等学校陸上部

部員数: 44人

「選手の自主性を重視する練習スタイルの狙いは何なのでしょう?」「陸上という競技は、試合が始まると選手が一人で判断しなければなりません。その日の天気や体調などによって試合の戦略は変わります。日々の練習から自分で考えるトレーニングをすることで、本番に強い選手を育てたいのです」。また、年に1回、校内での混成記録会」ときわ選手権を

昨年から2022年度にかけて陸上部は、男子八種競技、女子棒高跳などで好成績をあげています。その理由は、選手が自ら考え挑戦する姿勢を養う、練習のスタイルにあります。顧問の吉田先生はこう語ります。「陸上部では、全体練習日を週3日間(生徒により、全体練習日以外も主体的に取り組んでいる)と決め、練習の後半には自分で練習内容を決めるMT(マイタイム)という時間を設けて、生徒が自分で狙いたい種目や苦手な種目に取り組めるようにしています。こうした練習の内容は練習日誌に記録され、2週間に1回の提出を義務付けています。この取り組みは、「考え挑戦し続ける」姿勢を養うために不可欠と考えています」。

自ら試合の戦略を組み立てる トレーニング。



顧問
吉田 祐樹



副キャプテン

田中 裕斗 (3年)

2022年度 県高校総体 男子八種競技 第6位入賞

陸上部のモットーは、生徒が自分たちでつくり上げるチームです。MT(マイタイム)によって自発的にキツイ練習を選び、それをやり遂げた時に自分たちでチームをつくらせていることを実感します。陸上部では、部員それぞれが練習メニューをつくることによって、競争心が生まれ、お互いが高め合っています。集中して練習する雰囲気ができるよう、挨拶や練習の始まりで声を出すなど、部員の見本となつてみんなをリードすることを心掛けて取り組んできました。

自分たちでつくり上げるチーム。

実施しています。これは、男子8種目、女子7種目の記録を部内で競い合う大会です。「やったことのない種目に挑戦することで、選手一人ひとりに合った種目を見つけてほしい。その結果によって多くの選手が種目を変えており、県大会の決勝まで進んだ生徒もいます」。

陸上部の今後の目標についても、吉田先生は一人ひとりの生徒を見つめています。「県大会での優勝といった具体的な目標はありません。それよりも、生徒が常に自己ベストに挑戦して、陸上部に入って良かったと思つて卒業してくれることが目標です」。一人ひとりのベストへの挑戦が、大会での好成績にもつながっていきます。

智学館

「テニス部」

地区大会・県大会で好成績！ 智学館テニス部の強さの秘密。

今年、智学館のテニス部は、男子は関東高等学校テニス大会水戸地区予選会で団体ダブルス優勝、シングルス準優勝、全国高等学校総合体育大会水戸地区予選会団体優勝、同県大会では団体ベスト8・ダブルスベスト16！と大活躍。女子も水戸地区予選会ダブルスベスト16と好成績をあげています。素晴らしい成績をあげたテニス部の指導と活動について、顧問の山崎先生と、男子の新旧キャプテン・副キャプテンが語ってくれました。



智学館中等教育学校テニス部

部員数：22人
2021年度 男子 全国高等学校総合体育大会水戸地区予選会団体準優勝
2022年度 男子 全国高等学校総合体育大会水戸地区予選会団体優勝
女子 水戸地区予選会ダブルス・ベスト16

DATA

自分で考えること、そして努力の大切さを知り、テニスの楽しさを知ってもらいたい。山崎先生の指導は、生徒たちの卒業後も生き続けます。

また、智学館では中学1年から高校3年までの6年間、一緒に同じコートで練習できることも強みになるそうです。「下級生は上級生のプレーをみて、はっきりしたヒジョンや目標を持って自分のテニスを向上させることができます。努力したことが形になって現れやすいのです。部活の経験をもとに、積極的に努力できる人間に成長してほしいと思います。」

地区大会、県大会で大活躍の智学館テニス部。好成績を残すことができた秘訣は何でしょうか。テニス部顧問の山崎将弘先生はこう語ります。「テニス部の生徒たちには、自分で考えることを大切にするよう伝えていきます。試合中には、基本的に外部からアドバイスすることができないため、なぜうまく打てたのか、なぜミスをしたのかを考え、自分でゲームメイクをしながら、いつも声をかけています。」

「自分で考える」テニスを指導しています。



顧問
山崎 将弘

「挨拶、感謝、全力」をモットーに上を目指す。テニス部のモットーは、「挨拶、感謝、全力」です。挨拶はどんな部活でも重要だし、テニスは相手がいるスポーツだから感謝する心は大切です。また、地区大会や県大会でさらに上を目指すことがチームの目標ですが、全力でやればかなえられると思います。キャプテンを補佐し、全力を出せるよう部をまとめることが、副キャプテンの私の役目です。



副キャプテン
田崎 凧斗 (5年次)

「テニスが大好き」だからこそ強くなりたい。キャプテンとして部をまとめ、リードするために、個人と部全体でアドバイスをするように心掛けています。全体に指示する時は部全体がうまくいくことを優先し、個人に対してはその人の性格や考え方を考慮してアドバイスや声かけをします。みんなテニスが大好きで、好きだからこそ強くなりたいし、練習内容も工夫をして、常に全力で取り組んでいます。



キャプテン
鈴木 駿 (5年次)

「テニスが大好き」だからこそ強くなりたい。

先輩と後輩の壁がないのが、智学館テニス部の特色。智学館は6年間同じ部員で活動するので、先輩と後輩の間の壁があまりありません。後輩が何でも質問でき、先輩からも積極的に声をかけられるように、キャプテン時代は自分からテキパキ動き、後輩の模範になるように心掛けてきました。先輩から後輩が学びやすい雰囲気、智学館テニス部の強さにつながっていると思います。



前キャプテン
小貫 佑輔 (6年次)

幼稚園

新園長就任紹介

子ども、保護者、教職員の笑顔を中心に、地域ぐるみでしなやかな幼児教育に取り組みます。

本園では、子どもたちが明るく素直で、自然豊かな環境の中ですくすくと元気に育っています。歴史のある幼稚園らしく、本園を卒業したたくさんの保護者が自分の子どもを通わせているのにも驚きました。私にも孫がおりますが、園児たちを見てみると孫が増えたような感じがします。

本園は、常磐大学のキャンパス内に設置された幼稚園なので、大学や短期大学と連携した保育や、地域のスポーツ団体と連携した遊びなど、他の幼稚園にはない優れた保育が実践されています。私はこれまでの教育人生で、小中学校の校長や行政機関での勤務経験を重ねてきました。こうしたキャリアで培った経験を生かし、地域の教育機関との連携を、さらに深めていきたいと考えています。

例えば水戸市立常磐小学校に、園の池で園児たちが育てたメダカとその卵を贈り、現在は小学5年生が大切に飼育しています。新型コロナウイルス感染症の影響で、直接の交流ができない状況にありますが、今年度は、まずこのメダカを通して交流していきます。また、夏休みに二日間実施される「夏まつり」は、文部科学省の「こども見守り」に登録しましたので、水戸市立見川中学校と水戸市立第一中学校の生徒が、本園で職場体験を行います。こうした地域の教育機関とのつながりを生かし、子どもたちが卒業した後も、小学校への引き継ぎや情報交換をしっかりとして実践していきます。

進化論を唱えたダーウィンの名言に、「生き残る種とは、変化に最もよく適応したものと

である」とあるように、本園で育つ子どもたちには、様々な変化に対応できる、柔軟性を身につけた人間になってほしいと思います。地域と連携した試みを進めるのも、大切な発達・発育過程にある幼児教育の時期に、様々な対象と直接関わる体験を通して総合的に学んでほしいからです。

私の教育のモットーは、子どもの笑顔、保護者の笑顔、それを支える教職員の笑顔を大切にすることです。一人ひとりの笑顔を見つめながら、しなやかにたくましい幼児教育を進めてまいります。

座右の銘

仕事は楽しく遊びは真剣に

教育のモットーである笑顔は、楽しく仕事をしているからこそ。また、私は釣りが趣味で、茨城の海で真鯛やヒラメ、太刀魚などを釣りあげます。愛車も、釣り仕様になっているほど。真剣に遊んでこそ、得るものもあると実感しています。

愛読書

最近読んだ本で、ぜひ教員や保護者に読んでもらいたいのは
 ケーネの切れない非行少年たち(新潮新書) 宮口幸治 著
 スマホ脳(新潮新書) アンデシュ・ハンセン 著



常磐大学幼稚園 園長
 菅又 章雄
 2022年4月就任

Eye on Books

大学・短期大学の教員が執筆した様々な分野の著書をご紹介します。

日本語を教えるための教授法入門

人間科学部 准教授 飯野 令子
 深澤のぞみ、本田弘之(編著)
 2021年12月 くろしお出版
 日本語教育の方法を学び始めた人を対象にしています。学習者にどんな教え方をすればよいか理解し、自分なりの教授法を考えられる日本語教師の育成を目指しています。

新版 臨床栄養学 栄養ケアプロセス演習

一傷病者個々人の栄養ケアプラン作成の考え方
 人間科学部 准教授 大津 美紀
 鈴木純子(編著)
 2022年4月 同文書院
 外来、入院、在宅における17症例の各栄養ケアプロセスを著しています。さらに各疾患の演習問題の症例があり、これらを通じて栄養管理への理解を深めることができます。

神奈川から考える世界史

歩いて、見て、感じる歴史
 人間科学部 助教 深松 亮太
 藤田賀久(編著)
 藤村泰夫(監)
 2021年12月 えにし書房
 高校の新しい学習指導要領に基づいて、「地域から考える世界史」を念頭に編まれた副教材です。私は、コラム「横浜居留地の風刺画文化」を執筆しました。

中小企業の国際化と自立化

一日立地域にみる胎動
 総合政策学部 教授 菅田 浩一郎
 2022年3月 文眞堂
 中小企業が大企業との取引関係を通して得た力を挺に、国際化・自立化を進める、その胎動を日立地域にみとどり、史的・定性的・定量的分析を交え、実像に迫った研究書です。

グローバル化のなかで考える憲法

グローバル化のなかで考える憲法
 総合政策学部 助教 橋爪 英輔
 横田道聡、新井誠、菅原真、堀口悟郎(編)
 2021年12月 弘文堂
 グローバル化が憲法学にどう影響しているかという視点から、各テーマについて考察した論文集です。学界で論争を呼んだトランスナショナル人権法源論について執筆しました。

在宅看護技術

ナースポケットブック
 看護学部 教授 角田 直枝
 ナースポケットブック
 角田直枝(編)
 2022年5月
 学研メディカル 秀潤社
 訪問看護師や在宅看護実習の看護学生が、在宅で特に必要な栄養、皮膚、呼吸のケアについて、いつでも知識を確認できるように、持ち歩けるサイズの書籍にしました。

看護判断のための気づきとアセスメント

母性看護
 看護学部 准教授 中田 久恵
 茅島江子、村井文江、細坂泰子(編)
 2022年2月 中央法規出版
 対象をまるごと捉え、気づきから看護実践につなげるために必要な知識、アセスメントの視点をまとめています。視覚的にわかりやすく、楽しく学べるように作られています。

学校現場で役立つ教育心理学

教師をめざす人のために
 幼児教育保育学科 准教授 大内 晶子
 藤原和政、谷口弘一(編著)
 2021年12月 北大路書房
 教職課程で学ぶ学生や教員に向けて、子どもの発達と学習を支えるための背景となる理論や最新の研究知見を紹介しています。第3章「身体・運動の発達」を執筆しました。

Next 教科書シリーズ

国際法(第4版)
 常任理事 渡部 茂己
 渡部 茂己、河合 利修(編)
 2022年2月 弘文堂
 今、再確認したい「武力紛争と国際法(第16章)」、「国際安全保障(第15章)」を含む国際法の全領域について、防衛大学教授や渡部を含む9人の著者がアップデートしました。

TOKIWA Information

常磐大学のキャンパスの魅力が
YouTubeでご覧いただけます。
TOPOS MOVIE も配信中!



TOPOS MOVIE~vol.94 Eye on Clubs~



TOPOS MOVIE~vol.94 Special Feature~

寄付者ご芳名 (敬称略・五十音順) ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。[2022年1月~6月受け付け分]

諸澤幸雄奨学金制度への募金

学校法人内の各学校に在籍する学生・生徒で、経済的理由により学業の継続が困難な者に対して奨学金を給付し公平な修学機会を与え、もって有為な人材の育成に資することを目的とした給付型奨学金制度です。

個人	
芳名のみ公表	石田 脩平* 江原 麻子* 小宅 祐輔* 齋藤 祐輔* 渡辺 凧沙*

見和キャンパス開設50年施設整備事業募金

施設整備事業として、ラーニングcommonsの整備および新体育館の建築整備事業を順次進めてまいりました。現在は、見和キャンパス開設に合わせて建設された校舎の建て替え整備資金としての募金です。

法人	
200,000円	株式会社 久信田観光
300,000円	株式会社 西山工務店
芳名のみ公表	一誠商事株式会社
個人	
120,000円	齊藤 泰嘉*
芳名のみ公表	岩間 健一郎* 内田 和毅* 海老澤 秀揮 海老澤 弘子 大槻 行徳* 関 いづみ* 中村 彩香* 久松 雄大* 横瀬 薫 横山 正和*

地域社会との連携事業に対する支援

個人	
芳名のみ公表	吉田 茂男

教育研究の奨励支援

個人	
100,000円	小松 美穂子

社会福祉士を目指す学生への支援

法人	
3,200,000円	一般財団法人 安寿苑 (2022年度事業分)

常磐大学高等学校創立100周年募金

常磐大学高等学校の学校創立100周年を迎えるにあたり、教育活動ならびに学習支援をさらに充実させ、生徒の伸びやかな成長を図るための環境整備事業推進募金です。

法人	
100,000円	株式会社 久信田観光
700,000円	株式会社 西山工務店
30,000円	株式会社 水戸京成百貨店
芳名のみ公表	短歌結社 歌林の会

個人	
50,000円	大槻 行徳
100,000円	横須賀 敬章
芳名のみ公表	會澤 美由紀 飯村 せい子 大川 喜久枝 大岡 富美子 岡崎 優香 岡部 修三 柏 正則 上見 和子 黒澤 幸子 小澤 瑛子 古島 寧 後藤 政子 小林 常子 小檜山 富代 椎名 知子 志田 カツ 白井 美代子 鈴木 理恵 須田 昭 須田 幸子 住谷 里子 高岡 裕子

常磐大学高等学校創立100周年募金

個人	
芳名のみ公表	高瀬 純彦 高橋 トシ子 都筑 浩子 手島 弘之 富田 敬子 中崎 登喜子 名村 澄子 奈良 佳子 成田 安男 早坂 美恵子 東 汐美 平塚 修一 道川 秀子 矢之目 亮子 横須賀 すみ子 横須賀 靖 和田 裕三

●複数回お申し込みくださいました方は、芳名に*を付しました。
寄付募集について、文部科学省から特定公益増進法人の証明書交付を受けております。
税制上の優遇措置 本学にご寄付いただきました場合は、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄付募集の詳細については、
ホームページでご覧いただけます。
<https://www.tokiwa.ac.jp/fund/>

寄付金のお申し込みおよびお問い合わせ
学校法人常磐大学 会計経理課 寄付係
[お電話で] 029-232-2554
[メールで] kifu@tokiwa.ac.jp

TOPOS vol.94 September 2022

学校法人常磐大学 広報誌 [トボス] 2022年9月発行

学校法人常磐大学 総務課広報係

〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1 Tel. 029-232-2511(代)



皆様から
のご意見
大募集!

①印象に残った記事とその理由など ②今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど
皆様からのご意見・ご感想をメールまたははがきでお寄せください。

※名前、住所、本学との関係(在籍者の場合、所属する学校名)も併せてご記載ください。

[メール送信先] kikaku@tokiwa.ac.jp

[はがき郵送先] 〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1 学校法人常磐大学 総務課広報係

お寄せいただいた方の中から、抽選で20名様に常磐大学オリジナルグッズを差し上げます。



常磐大学大学院
常磐大学
常磐短期大学



<https://www.tokiwa.ac.jp/>

常磐大学高等学校
智学館中等教育学校
常磐大学幼稚園



常磐大学は平成28年度大学評価の結果、(公財)大学基準協会の大学基準に適合していると認定されました。



常磐短期大学は令和2年度(一財)大学・短期大学基準協会による認証評価の結果、適格と認定されました。